

事業名	【継続】 島原市中小企業振興利子補給補助金				
当初予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)				
	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
701万9					701万9
事業期間	平成26年度～平成32年度（複数年度事業）			総事業費	

【事業目的】

中小企業金融円滑化法が平成25年3月31日をもって期限切れとなり、これまで債務返済を猶予されてきた中小企業者に対する資金繰りの支援を目的に制度を創設。

【事業概要】

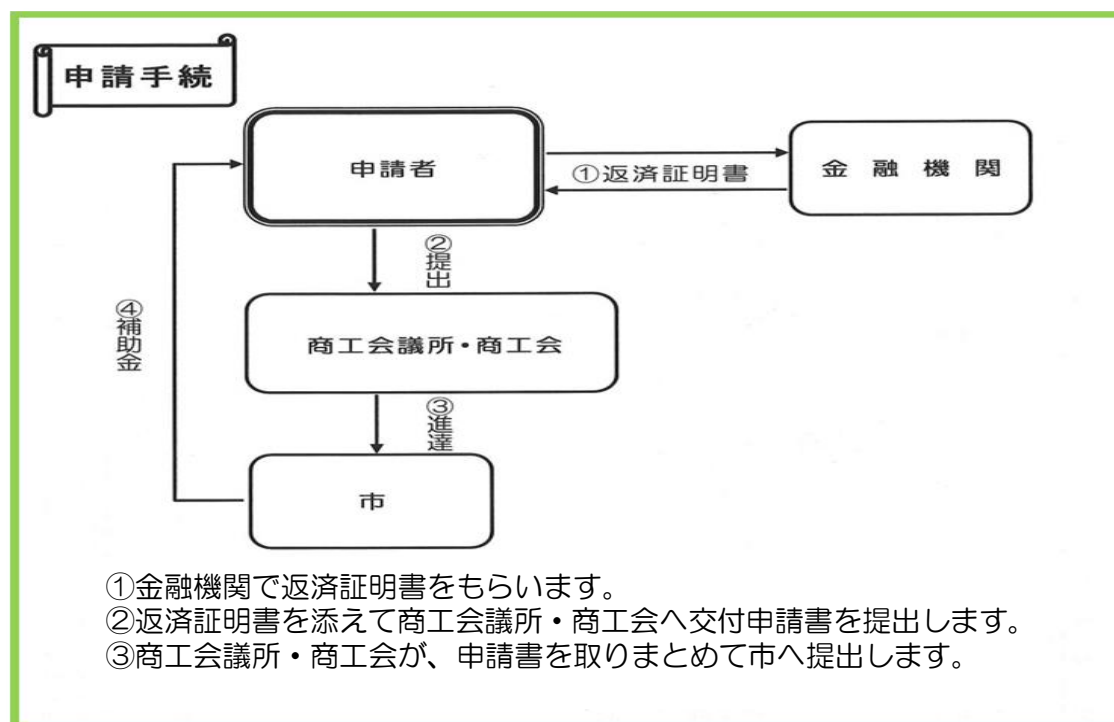
○対象者：下記要件をすべて満たす方。

- (1) 市内に1年以上住所を有する事業を営む個人又は市内に1年以上本店を有する法人
- (2) 平成26年4月1日以降に下記「対象となる融資」のいずれかの融資を受けた方
- (3) 市税等を完納している方

○対象融資：島原市中小企業振興資金、日本政策金融公庫の国民生活事業の事業資金

○補給額：対象者が実際に支払った利子額の50%(上限額12万円)

事業スキーム図



科目	7 款	1 項	2 目	目名称	商工業振興費	産業政策課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	・事業の周知・広報 ・補助金審査・支給			・事業の周知・広報 ・補助金審査・支給		・事業の周知・広報 ・補助金審査・支給

事業名	【継続】 商店街活性化事業（しまばら出店応援ナビ事業）				
当初予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)				
	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
180万0	60万0				120万0
事業期間	平成30年度～			総事業費	

【現状】空き店舗の増加

空き店舗の増加は、商店街内の個店の集積というメリット(魅力)を失い、中心市街地における地域の顔としてのイメージが損なわれ、来街者が商店街に活気がないように感じる要因となっています。

【課題】出店希望者と所有者のミスマッチ

家賃の折り合いがつかない、店舗の老朽化、所有者に貸す意思がない、など出店希望者と所有者のミスマッチが課題となっています。空き店舗の増加により「商店街としての魅力の低下」が懸念されます。

【事業の目的】まちの魅力と地域の価値向上

中心市街地における商店街の活性化を図ることで、まちの魅力を高め、地域全体の価値の向上を目的に魅力ある個店の立地を推進します。

1 空き店舗バンク制度

- ①空き家バンク制度を参考に『出店応援ナビ制度』を実施します。
- ②市のHP上で所有者と出店希望者をつなぐウェブサイトを開設します。
- ③所有者は、貸し出す物件を登録します。（場所、広さ、家賃、希望業種など）
- ④出店希望者は、希望条件を登録します。（場所、広さ、家賃、職種など）

2 マッチング支援

- ①希望に合う情報を紹介し、それぞれの条件が合えば、さらに詳しい条件を聞き取り、成約へつなげます。
- ②所有者が了承した物件については、サイトで公開したり、現地で見学会を行ったりします。
- ③出店が決まれば、『しまばら創業サポートセンター』の専門支援員の指導の元、ビジネスプランを策定します。

**3 出店初期費用支援**

- ①策定したビジネスプランを基に、必要な支援を実施します。（資金調達、各種許認可、補助金申請）

- ②市の補助金制度として、出店にかかる初期費用について支援を行います。

- 改装費補助…改装に要した経費（補助率1/2以内、上限25万円）
- 広告宣伝費補助…チラシ、HPの作成費用（補助率1/2以内、上限5万円）



科目	7 款	1 項	2 目	目名称	商工業振興費	産業政策課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	・空き店舗情報の収集、提供 ・出店希望者への支援			・空き店舗情報の収集、提供 ・出店希望者への支援		・空き店舗情報の収集、提供 ・出店希望者への支援

事業名	【継続】 企業立地促進・雇用創出事業				
当初予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)				
	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,512万1				500万0	1,012万1
事業期間	平成24年度～			総事業費	

【事業目的】

本市における新規企業の立地及び地場企業の拡大を促進するために必要な支援措置を講じ、産業の振興と雇用の創出を図ることを目的とします。

【事業概要】

【支援対象業種】

- ①製造業
- ②自然科学研究所
- ③機械修理業
- ④情報サービス業
- ⑤宿泊業
- ⑥技術サービス業
- ⑦物流関連業

両方の要件を満たすこと

⇕

事業の指定

⇓

事業が指定されると、支援メニューに沿った奨励金を支給。

【支援対象要件】

島原市に新設・増設・移設・改修を行う事業者が以下の要件を満たす場合に支援を行います。

【新設の場合】

投下固定資産額：2,500万円以上
新規雇用者の増加：5人以上

【増設・移設の場合】

投下固定資産額：1,000万円以上
新規雇用者の増加：1人以上

【改修の場合】

改修に要した額：2,500万円以上
新規雇用者の増加：5人以上

【支援メニュー】

①立地奨励金

◆投下した固定資産額にかかる固定資産税相当額を3年間補助

③土地家屋賃借奨励金

◆土地・家屋賃借料の25%を3年間補助（限度額1年間で1,000万円）

②施設整備奨励金

◆投下した固定資産額（土地代を除く）の取得額又は改修に要した経費に新規雇用者の数に応じて一定の率を乗じた額を補助（限度額1億円）【改修：2,000万円】

④雇用奨励金

◆新規雇用した人数に対する補助
正規雇用者…50万円／人
短時間雇用者…25万円／人
（限度額 5,000万円）

科目	7 款	1 項	2 目	目 名 称	商工業振興費	産業政策課
事業計画	前 年 度 ま で			今 年 度		来 年 度 以 降
	・事業の周知・広報 ・指定にかかる審査・決定 ・各奨励金の支給			・事業の周知・広報 ・指定にかかる審査・決定 ・各奨励金の支給		・事業の周知・広報 ・指定にかかる審査・決定 ・各奨励金の支給

事業名	【継続・人口減少対策】 雇用拡大支援事業				
当初予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)				
	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
350万0					350万0
事業期間	平成27年度～			総事業費	

【事業目的】

若者の雇用の場を確保するため、市内に居住する新規学卒者を雇用した市内事業所を支援します。

【事業概要】

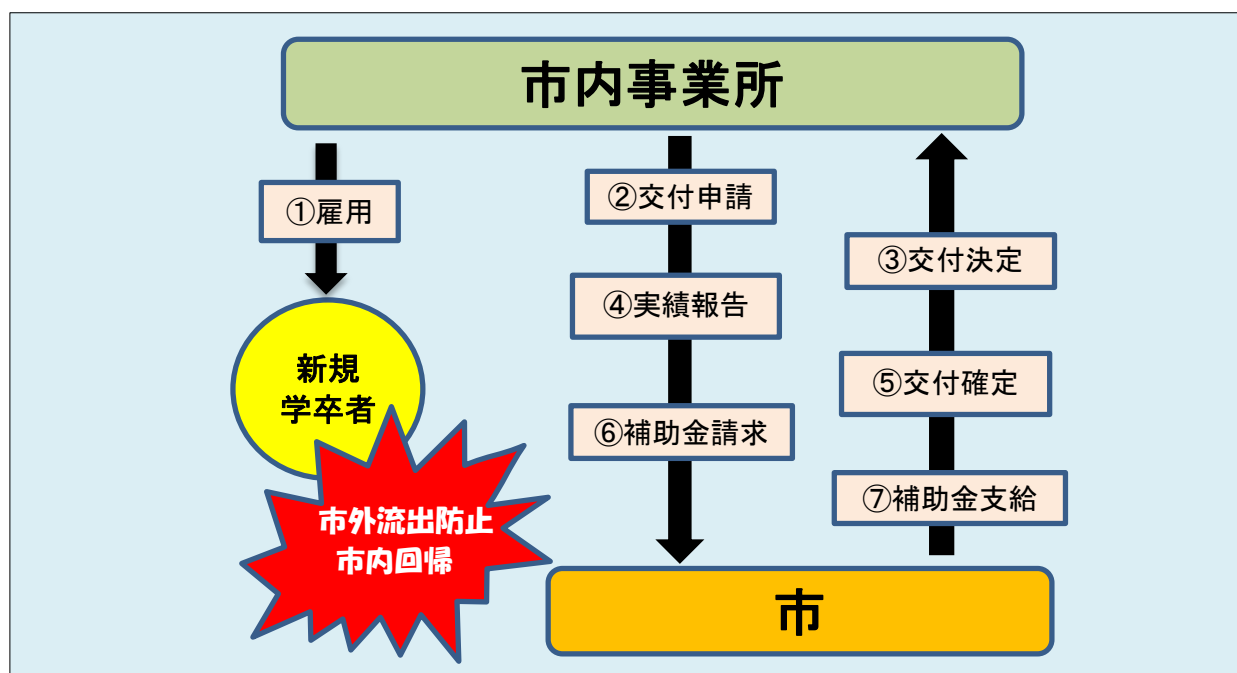
島原商工会議所及び有明町商工会の会員事業所が新規学卒者を常用雇用した場合、1年間の雇用の確認後に雇用増加人数に応じた補助金を交付します。

【対象】

- ①島原商工会議所及び有明町商工会の会員事業所
- ②新規学卒者を常用雇用し、かつ、1年間雇用した事業所
- ③市税等を完納している事業所

【補助率・積算根拠】

- ①中学・高校卒業者1人あたり 15万円
- ②専門学校、短大、大学等卒業者1人あたり 20万円



科目	7 款	1 項	2 目	目名称	商工業振興費	産業政策課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	・市内事業所への周知・広報 ・補助金の審査・支給			・市内事業所への周知・広報 ・補助金の審査・支給		・市内事業所への周知・広報 ・補助金の審査・支給

事業名	【継続】 島原半島若者定着促進協議会負担金				
当初予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)				
	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
32万5					32万5
事業期間	平成30年度～			総事業費	

【事業目的】

島原半島内高校に通学する生徒、島原半島3市から県央地区高校に通学する生徒に島原半島内企業を知ってもらい、地元での就職を後押しします。

【事業概要】

- ・企業ガイドブックの作成及び生徒への配布
- ・企業説明会の実施

【企業説明会参加企業数】

50社程度

【対象とする生徒】

- ・半島内高校に通う主に就職希望の高校3年生
- ・半島に居住して半島外高校に通う主に就職希望の高校3年生
- ・その他高校から参加させたいと希望のあった生徒

【企業説明会実施予定日】

平成31年6月13日（木）

【会場】

島原復興アリーナ（メインアリーナ）

【実施主体】

島原半島若者定着促進協議会（以下、構成団体）

- ・島原振興局（事務局） ・島原市 ・雲仙市 ・南島原市 ・商工会議所 ・商工会
- ・ハローワーク（諫早・島原）



科目	7 款	1 項	2 目	目名称	商工業振興費	産業政策課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	・企業ガイドブックの作成及び生徒への配布 ・企業説明会の実施			・企業ガイドブックの作成及び生徒への配布 ・企業説明会の実施		・企業ガイドブックの作成及び生徒への配布 ・企業説明会の実施

事業名	【新規】 地場産業事業拡充促進事業補助金				
当初予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)				
	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
800万0	200万0	400万0			200万0
事業期間	平成31年度～平成33年度 (複数年事業)			総事業費	

【事業目的】

国の地方創生推進交付金と県の地域産業雇用創出チャレンジ支援事業補助金を財源として、本市における地場産業の事業拡大の取り組みに対し、県と連携した支援を行い、市内における雇用の場を確保することを目的とします。

【事業概要】

○補助対象者

既に事業を営んでいる、常時雇用する従業員が20人以下の小規模事業者であり、生産能力の拡大、商品・サービスの付加価値向上等を図るため、雇用拡大・設備投資等を行う者。

○対象となる事業

新たに雇用を創出する事業であり、地域産業の振興に資する事業、若しくは、地域課題の解決に資する事業

地場産業事業拡充支援事業補助金

補助上限額：1件当たり最大400万円（補助率2/3）

対象経費：人件費、設備費、店舗等借入費、広報費等

科目	7 款	1 項	2 目	目名称	商工業振興費	産業政策課
	前年度まで			今年度		来年度以降
事業計画	—			・事業の周知・広報 ・補助金審査・支給		・事業の周知・広報 ・補助金審査・支給

事業名	【継続】 創業支援事業				
当初予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)				
	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
143万9					143万9
事業期間	平成27年度～			総事業費	

創業時雇用支援事業

【事業目的】

創業者の雇用面での支援を行い、雇用の場の確保を図ります。

【事業概要】

国の創業関係補助金の採択を受けた事業者に対して一時金を支給し雇用面での支援を行います。

【対象】

- ①国の創業関係補助金の採択を受け、かつ、1年間雇用を行った事業者
- ②市税等を完納している事業者

【補助率等】

新規雇用者1人あたり 20万円

雇用面
の支援

創業支援等利子補給事業

【事業目的】

融資借受人の負担を軽減し、もって市内中小企業者の経営の安定を図ります。

【事業概要】

県の中小企業者向け融資制度「創業バックアップ資金」、「地域産業支援資金」、「地方創生推進資金」及び日本政策金融公庫国民生活事業の創業関係融資を受けている者に対し、利子の補給補助を行います。

【対象】

- ①市内に住所を有する個人又は市内に本店を有する法人
- ②市税等を完納している者
- ③対象融資を受けた者で、約定どおりに返済し、かつ、利子(延滞利子を除く。)を支払っている者

【補助率等】

利子の50%

経営面
の支援

科目	7 款	1 項	2 目	目名称	商工業振興費	産業政策課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	・事業の周知・広報 ・補助金の審査・支給			・事業の周知・広報 ・補助金の審査・支給		・事業の周知・広報 ・補助金の審査・支給

事業名	【継続】 観光宿泊施設支援事業				
	財 源 内 訳 (単位：千円)				
当初予算額	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,513万5					1,513万5
事業期間	平成23年度～ (複数年度事業)			総事業費	

【事業目的】

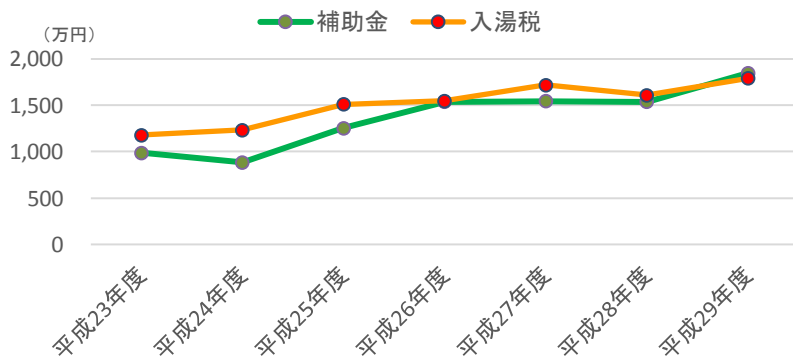
観光の基幹となる温泉給湯事業を利用する宿泊施設に対して支援を行うことにより、観光の振興を図ります。

【事業概要】

- 対象者** 温泉給湯事業を利用する市内の宿泊施設（4施設）
- 対象経費** 観光の振興に寄与する事業にかかる経費
- ア. 宣伝、PRに要する経費
 - イ. 借上げ等に要する経費
 - ウ. 地元の食材の提供等、地産地消に要する経費
- 証明添付** 市税及び温泉使用料の滞納がないことを証する書類



年度別補助金と入湯税の推移



※これまで、入湯税収入（宿泊者数）は、増加傾向にあります。

(H28は、熊本地震で減)

※今後も、まち・ひと・しごと創生総合戦略の数値目標値の達成に向けて取り組んでいきます。

※目標値

宿泊者 25万人
入込客 200万人

科目	7 款	1 項	3 目	目名称	観光費	しまばら観光おもてなし課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	本市温泉給湯事業を利用する宿泊施設を対象に、本市観光振興に寄与する事業に係る経費に対する補助			本市温泉給湯事業を利用する宿泊施設を対象に、本市観光振興に寄与する事業に係る経費に対する補助		引続き実施予定

3. 歴史と文化を活かした観光都市づくりと交流人口の拡大

当初予算書

219P

事業名	【継続】 島原城七万石物語事業				
	財 源 内 訳 (単位：千円)				
当初予算額	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,500万0	750万0				750万0
事業期間	平成26年度～ (複数年度事業)			総事業費	

【事業目的】

観光誘客の拡大を図るため、島原藩七万石の成り立ちを歴代藩主等の登場を含めながら、史実に基づき往時を彷彿させるような歴史演出等を行うことで、島原ならではの魅力体験などを通して観光客の満足感・充実感を高め、観光の活性化を図ります。

【事業概要】

- ・島原城を中心とした観光施設等での演舞披露や和楽器演奏。
- ・観光客へのおもてなしサービスをはじめ、幅広く市民にも愛着を持ってもらうための市内各団体との交流や、市内のイベント等におけるPR活動。
- ・観光客に甲冑等を羽織らせる武将体験や島原城内外での案内の実施、観光情報の提供などによる島原の魅力を発信。
- ・市内外を問わずお祭りやイベント等へ島原城七万石武将隊として積極的に参加し演舞を披露。
- ・インターネット等を活用した、全国各地で結成されている武将隊や戦国マニアとの情報交換や情報発信。
- ・武将隊によるガイド等のオリジナル企画の実施や、武将隊グッズの開発。



科目	7 款	1 項	3 目	目名称	観光費	しまばら観光おもてなし課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	島原城に武将隊を配置してのおもてなし活動や、市県外での観光PR実施			島原城に武将隊を配置してのおもてなし活動や、市県外での観光PR実施		島原城に武将隊を配置してのおもてなし活動や、市県外での観光PR実施

3. 歴史と文化を活かした観光都市づくりと交流人口の拡大

当初予算書

219P

事業名	【継続】 湧水城下町おもてなし事業				
	財 源 内 訳 (単位：千円)				
当初予算額	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
900万0	450万0				450万0
事業期間	平成26年度～ (複数年度事業)			総事業費	

【事業目的】

本市特有の財産である湧水や城下町などの魅力を発信する体験・周遊型の島原らしい体験メニューなどのコンテンツ開発等を行うことで、観光客の市内滞在時間延長と観光消費額の向上を図ります。

【事業概要】

- ① 郷土料理“かんざらし”の手づくり体験
- ② 島原城や鯉の泳ぐまち、浜の川湧水など歴史や湧水を活用した子どもから大人まで楽しめる参加型イベントの企画・運営



かんざらし手作り体験



キャッスルモンスター謎解き体験

科目	7 款	1 項	3 目	目名称	観光費	しまばら観光おもてなし課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	かんざらし手作り体験、参加型イベントの企画・運営、島原駅等への案内人の設置			かんざらし手作り体験、参加型イベントの企画・運営		かんざらし手作り体験、参加型イベントの企画・運営

事業名		【継続】 島原めぐり事業				
当初予算額		財 源 内 訳 (単位：千円)				
		国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,100万0			440万0			660万0
事業期間		平成30年度～平成32年度 (複数年度事業)			総事業費	
【事業目的】 島原城や鯉の泳ぐまち等を中心とした、島原ならではの風情やおもてなしを観光客に体験してもらうことで、周遊型観光の推進・滞在時間の延長、観光消費額の増加を図ります。 また、東京オリンピック・パラリンピック、長崎新幹線、島原城築城400年を見据え、観光インフラの構築を積極的に行っていきます。 ※実施主体：(株)島原観光ビューロー						
【事業概要】 ○めぐりんチケット実証事業 400万円 (事業費：800万円、事業収入：400万円) 島原城や鯉の泳ぐまちなどの主要スポットにおける周遊の促進や物販の増売を目的に市内を運行している「しまばらめぐりんバス」を活用し、観光客のニーズの有無などについて実証実験を行います。						
 【島原城】  【しまばらめぐりんバス】  【銀水】  【島原駅】  【鯉の泳ぐまち】  【島原港】						
○街中free wi-fi化事業 200万円 島原城から鯉の泳ぐまちを結ぶ街中をフリーWi-Fi化し、観光客が利用しやすい環境の整備や、AR技術を活用した多言語案内、散策イベント等の充実につなげます。						
○AR (拡張現実：Augmented Reality) 技術を活用した多言語案内板整備 500万円 フリーWi-Fiの整備に併せ、島原城等におけるスマートフォンを活用した多言語案内および映像等による紹介の充実のほか、周遊ルートへの誘導を図ります。						
科目	7 款	1 項	3 目	目名称	観光費	しまばら観光おもてなし課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	観光客の滞在時間の延長、観光消費額の増加のための環境整備			観光客の滞在時間の延長、観光消費額の増加のための環境整備		観光客の滞在時間の延長、観光消費額の増加のための環境整備

事業名	【継続】				
	浜の川湧水「銀水」賑わい創出事業				
当初予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)				
	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
875万0				875万0	
事業期間	平成28年8月～ (複数年度事業)			総事業費	

【事業目的】

島原市の観光資源である「湧水」と島原名物「かんざらし」をPRする施設として「銀水」を運営し、「どこか懐かしい場所」「何だか懐かしい味」をコンセプトに島原らしさを演出しながら賑わいを創出するとともに、島原城や鯉の泳ぐまち等と一体となった周遊型観光の促進、滞在時間の延長を図ります。

【事業概要】

銀 水

昔からのコミュニティ・湧水スポット
浜の川湧水：共同洗い場

観光客と地域住民が交流できるスポットの創出

交流人口の増加・滞在時間の延長

島原らしさを活かした周遊型観光の拠点づくり

島原城



鯉の泳ぐまち



科目	7 款	1 項	3 目	目名称	観光費	しまばら観光おもてなし課
事業計画	前 年 度 まで			今 年 度		来 年 度 以 降
	○浜の川湧水「銀水」の賑わい創出 ○周遊型観光の拠点施設として活用			○浜の川湧水「銀水」の賑わい創出 ○周遊型観光の拠点施設として活用		○浜の川湧水「銀水」の賑わい創出 ○周遊型観光の拠点施設として活用

3. 歴史と文化を活かした観光都市づくりと交流人口の拡大

当初予算書

223P

事業名	【新規】 島原城築城400年記念事業				
当初予算額	財 源 内 訳				(単位：千円)
	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
150万0				150万0	
事業期間	平成30年度～平成36年度（複数年度事業）			総事業費	

【事業目的】

島原城は、松倉守重政公により元和4年（1618年）から7年の歳月をかけて築かれ、2024年に築城400年を迎えることから、島原城・城下町の歴史や文化を振り返り、次世代に伝承していくための事業を実施します。

【事業期間】

平成30年度から平成36年度まで

【事業構成】

- 祝祭・イベント・交流事業
（記念行事、イベント、交流事業の開催）
- 歴史・文化事業
（島原城の歴史や文化の再認識、郷土愛の向上、後世への伝承）
- 島原城下まちづくり事業
（城下町島原にふさわしい景観整備）



【事業内容（平成31年度）】

- 島原市民大学講座（ウェブ講座）等の開催
- 島原城読本の発行（企画）
- 古写真・絵図・書籍等の募集
- 島原城一斉清掃
- 市民、県民、自主企画イベントの募集
- 情報発信、啓発活動 など



島原城築城400年記念事業キャッチフレーズ
島原城築城400年 繋げ未来へ！



科目	7 款	1 項	3 目	目名称	観光費	しまばら観光おもてなし課
	前 年 度 まで			今 年 度		来 年 度 以 降
事業計画	○実行委員会の設立 ○キャッチフレーズの募集・決定 ○ロゴマークの募集・決定			○事業の企画・運営		○事業の企画・運営

2. 産業の振興と島原地域ブランドの確立

当初予算書

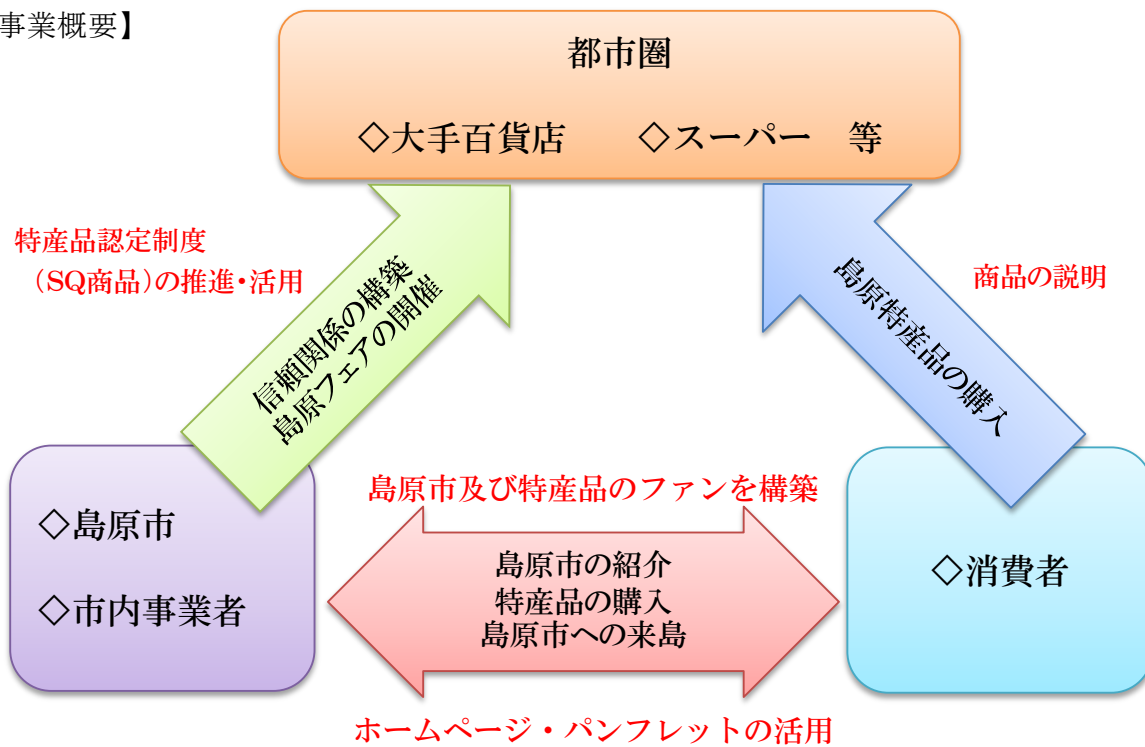
225P

事業名	【継続】 特産品PR催事事業				
当初予算額	財源内訳 (単位：千円)				
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
627万9				100万0	527万9
事業期間	平成21年度～ (複数年度事業)			総事業費	

【事業目的】

本市特産品のブランド化の一環として、特産品の魅力が向上し、消費者に愛される製品となるように、特産品認定制度・特産品創出を推進するとともに、その認知度を高めるべく、各種催事等を積極的に展開して情報発信・PRを行い、大手百貨店をはじめスーパー、商社等幅広い流通促進や販路拡大に繋がります。

【事業概要】



科目	7款	1項	4目	目名称	ふるさと産業振興費	しまばらブランド営業課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	物産展等を活用した本市特産品の情報発信・PR			物産展等を活用した本市特産品の情報発信・PR		物産展等を活用した本市特産品の情報発信・PR

2. 産業の振興と島原地域ブランドの確立

当初予算書

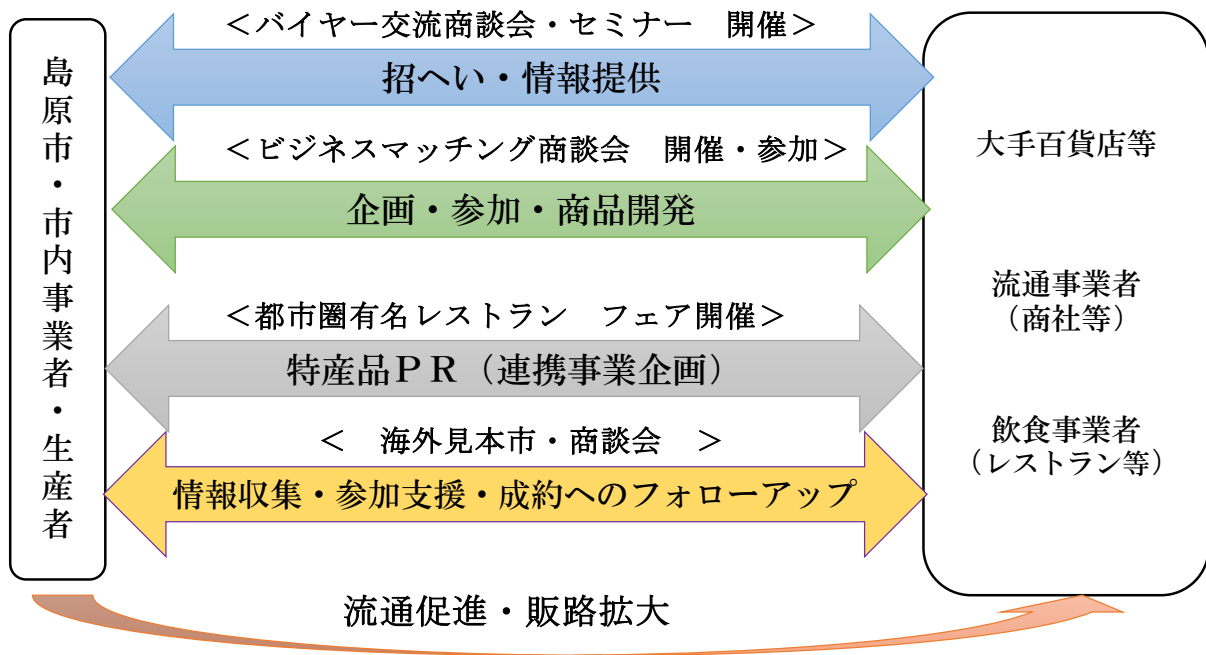
227P

事業名	【継続】 特産品流通促進事業				
当初予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)				
	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
264万1					264万1
事業期間	平成21年度～ (複数年度事業)			総事業費	

【事業目的】

本市特産品が都市圏の市場において、常備商品としての定着を図るために、市内事業者が広く参加できるバイヤー交流商談会やセミナーを開催するとともに、市場となる都市圏で開催されるビジネスマッチング商談会や海外見本市・商談会への参加を図り、より広域、より多い販路拡大の機会が得られるよう支援します。また、島原の農畜水産物のイメージアップと飲食業への販路開拓を目指してレストランにて島原産品を食材としたフェアを開催します。

【事業概要】



科目	7 款	1 項	4 目	目名称	ふるさと産業振興費	しまばらブランド営業課
				前年度まで	今年度	来年度以降
事業計画				バイヤー交流セミナー・ビジネスマッチング商談会の開催、百貨店等への常備商品流通。	バイヤー交流セミナー・ビジネスマッチング商談会の開催、百貨店等への常備商品流通。	バイヤー交流セミナー・ビジネスマッチング商談会の開催、百貨店等への常備商品流通。